

## Banco Sumitomo Mitsui Brasileiro S.A. DAILY MARKET REPORT

BANCO SUMITOMO MITSUI  
BRASILEIRO S.A.

Treasury Department

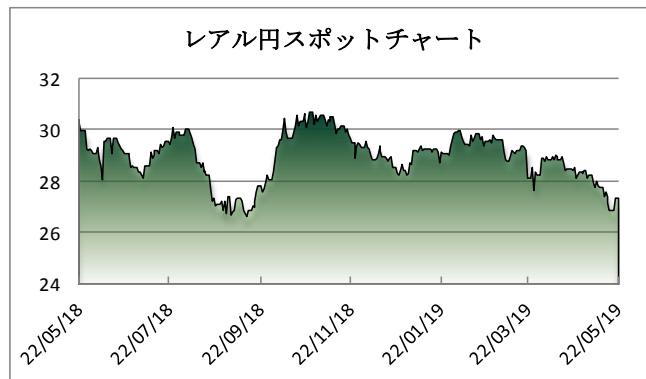
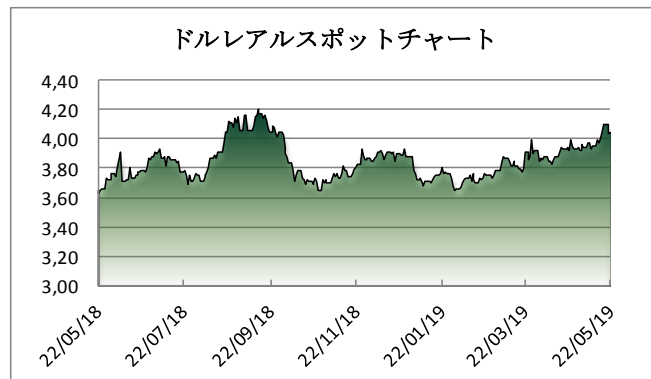
## マーケットサマリー

昨日のドルレアルスポット相場は、下院憲法司法委員会(CCJ)において税制改革法案が承認されたことや、Guedes経済相を初めとする政府要人が相次いで年金改革法案実現へのコミットを表明したことで、前日に続いてリスクセンチメントの改善が進み、一時4.00台後半までレアル買いが進行した。しかし、引けにかけては反落し、4.04台前半で取引を終了。ボベスパ指数も日中の上昇分を維持できず、前日比マイナス圏に沈んで取引を終えている。今回CCJに提出された税制改革法案は政府主導ではなく、ルーラ政権時代に経済局長などを務めたエコノミストのBernard Appy氏が、複数の連邦・州税を1つに統合することを目的に素案し、MDBに所属するBaleia Rossi氏が議会独自の法案として提出したものとなる。下院は政府法案に先駆けて下院独自の法案を通過させることで、「議会が政府に対して協力的であることを示し、国民からの支持を取り付けたい考えにある」、と報じられているが、本法案とGuedes経済相が主導する政府法案との関係性も不明であることから、相場材料としては短期的なものに留まる見通し(なお、Maia下院議長とGuedes経済相は、税制改革の本格的な審議を年金改革法案の承認以降に行うことで合意していると既に報じられている)。また、同経済相は昨日、ブラジルで開催されたイベントにおいて、「ブラジルの国民は将来の年金を保証するため、社会保障改革の重要性を理解しているが、政府は法案を巡るロビー活動に直面している」と発言。また、「改革は10年間で1兆レアルの歳出抑制に寄与する他、3%の経済成長をもたらす」、「ブラジルは政治的には発展してきたが、経済的には依然として誤った方向に進んでいる」、「民主主義への脅威は存在しない」と述べている。

## マーケットデータ

Indicator		Unit	5月21日	5月22日	前日比	1ヶ月前比	(年初来) 高値	(年初来) 安値
レアル	対ドル	BRL	4,0392	4,0402	0,02%	2,64%	3,6374	4,1217
	対円	JPY	27,36	27,33	-0,11%	-3,89%	30,08	26,68
	対ユーロ	BRL	4,5079	4,5034	-0,10%	1,63%	4,1646	4,6037
円	対ドル	JPY	110,50	110,36	-0,13%	-1,41%	104,87	112,40
	対ユーロ	JPY	123,33	123,06	-0,22%	-2,34%	118,71	127,50
Bovespa (ブラジル株価指数)		Index	94.485	94.361	-0,13%	-0,24%	100.439	87.536
CDS Brazil 5yrs		bps	178,10	178,60	0,28%	4,50%	209,52	149,43
Brazil 10yrs Gov. Bond		%	8,79	8,86	0,80%	-1,30%	9,34	8,70
DI Future Jan20 (金利先物)		%	6,42	6,41	-0,16%	-0,54%	6,69	6,32
3 Months US Dollar Libor		%	2,52350	2,52475	0,05%	-2,18%	2,8039	2,5180
CRB Index (国際商品指数)		Index	181,97	179,54	-1,34%	-4,46%	189,68	168,26

これらのレートは各市場における終了時点の気配値です。実際のレート提示は弊行担当者までお問い合わせ下さい。



<オンブスマン連絡先: 0800 722 2762>

本レポートは情報の提供を目的としており、何らかの行動を喚起するものではありません。ここに示した意見は本レポート作成現在の筆者の意見を示すのみです。データや数値の抽出範囲・基準は任意で設定している場合があります。データ・資料等については、数値等の誤りが含まれている可能性があります。本レポートに基づき、お客様が投資のご判断をされた結果生じた損害・損失については当行は一切責任を負いません。投資や資金運用に関する最終決定は、お客様ご自身で判断されるようお願い申し上げます。本レポートの全部または一部の無断コピー・転載はご遠慮頂きますようお願い申し上げます。